



周東中校区の学校の
取組や小小・小中連携
の様子をお伝える
院生だよりです！

R7. 6. 2

文責：高森小学校
亀井陽子

運動会も終わり、あっという間に6月ですね。新緑がまぶしい季節となり、子どもたちは外遊びを元気いっぱい楽しんでいます。そろそろ、梅雨時期です。恵みの雨となりますように・・・

米川小の公開授業を参観しました！



↑個の学び、ていねいに個別指導
されていました。



グループ学習の時間です。

- 正しいかどうかを判断します。
- 自分の考え方と比べながら聞きます。
- 同じなら：分かりやすい説明を話し合います。
- 違う：自分の考え方を分かってもらえるように伝えてグループ内で共有します。
- 分らない：どこまで分かった、どこが分からないかをグループでまとめて、みんなに伝えます。

それぞれの学習場面で、随時提示されていました。めざす授業を全教員で共有できますね！

←個の学びの後、グループ学習で計算の仕方を説明しています。

5月28日(水)、米川小学校6年生の算数科「分数×整数 分数÷整数」の公開授業が行われました。授業の主眼は、「数直線図や関係図、面積図をもとに考えることで、分数÷整数を立式し、計算の仕方を説明することができるようにする」ことでした。これは、米川小の全国学力・学習状況調査において課題とされていた「分数」に関する指導の一環です。この授業は、課題解決に向けて日々どのような授業づくりをしていくかという点で、非常に提案性の高い内容でした。また、上杉先生は授業者としてだけでなく、研修主任としての役割も果たし、授業の流れや教師の動きなどを画面に映し出すことで、今年度の米川小学校が目指す授業の姿を明確に示されていました。目指す授業と実際の児童の姿とが重なり合う、実践的で意義深い授業が米川小で行われていました。

そお小の学校運営協議会・学力熟議を参観しました！



5月30日(金)、そお小学校で学校運営協議会・学力熟議が開催されました。熟議のテーマは、「学びへのやる気スイッチ！～学習の悩み事や不安を解決し 共に高まろう～」で、4～6年生の児童が参加しました。児童たちは、事前に考えてきたことを持ち寄り、真剣な表情で話し合いに臨んでいました。地域の方々の優しい言葉にも励まされながら、児童たちは一生懸命に意見を交わしていました。また、事後には地域の方々によるリフレクションにも参加させていただきました。児童を温かく褒める言葉や、ご自身の経験、子育ての中での思いなどを語る姿に触れ、このような光景もぜひ児童たちに見せたいと感じました。

今回の話し合いが、これからの学びや成長にどのようなつながっていくのか、とても楽しみです。

←6つのグループに分かれ熟議を行った後、みんなの前で発表しました。

教職大学院の 5・6 月

4 月は大学での活動が中心でしたが、5・6 月は「学校月」となり、原籍校での学校実習が行われています。私も高森小学校での実習に加え、研究テーマである「小中一貫教育」に関連して、小小・小中連携の視点から、そお小・修成小・米川小・川上小・周東中を訪問しています。

今回のお便りでは、米川小とそお小の取組をご紹介します。

「小小連携」と聞くと、児童同士の交流をイメージされる方も多いと思いますが、私は、教師同士の交流や、児童の学習の成果物を共有することも、連携の大切な一部だと考えています。今回のように、私が参観・参加した学校の実践をお知らせすることも、広い意味での小小連携になるのではないのでしょうか。

他校の取組は本当に勉強になりますし、刺激にもなりますね！

ちなみに、5 月 20 日に行われた第 1 回生活向上プロジェクト会議で話し合われた重点取組事項の一つ「そうじ時間のだ・い・す・き」を、米川小学校でも実践されていました。その反省会の様子をご紹介します！

だ＝だまって

い＝いっしょうけんめい

す＝すみずみまで時間いっぱい

き＝きちんとあとかたづけ



小学校で共通して指導していれば、周東中学校でもこの指導を受けた生徒が集まるのですから、これは、小中連携と言えますね！